

海岸の環境保護を

党PTの砂浜の浸食など視察 加藤氏ら

愛知・豊橋市

公明党の海岸環境保全プロジェクトチーム（PT、加藤修一座長）は8日、愛知県田原、豊橋両市で海岸の浸食状況などを視察し、関係者と活発に意見交換した。これには加藤座長、同PTの鰐淵洋子事務局長、谷合正明党青年局長（いずれも

参院議員）、伊藤渉衆院議員、渡会克明県議、市議が同行した。

一行は、関係者の案内で美しい砂浜が連なる遠州灘沿岸の赤羽根漁港海岸、久美原海岸（いずれも田原市）、二川漁港海岸（豊橋市）を相次いで視察。サーフィンのメッカである赤羽根漁港海岸では砂の堆積により波に

変化が表れている状況、二川漁港海岸では砂浜の浸食が進み、アカウミガメの産卵に影響を及ぼし

ている現状を聞いた。意見交換では地元の一フアアや漁業関係者、NPO団体、住民代表らから、①環境に配慮した公共事業②漂砂に関する継続的な調査③ごみ問題を解決する海岸利用のルールづくりなどの要望が出された。

加藤座長は「美しい海岸の景観や生態系を保護し、多様な海岸利用のニーズにこえる海岸の環境整備を推進していきたい」と話した。



砂浜の浸食状況などを視察する党PTのメンバーら＝8日 愛知・豊橋市